

<新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業（2023年度）>

中核都市の通勤・業務・家庭 EV 群からフレキシビリティを創出する EMS の開発

1. 事業概要（再生可能エネルギー利用促進分野、フェーズC）

〔内容〕
通勤、業務、家庭の3つのセグメントで普段利用のあるEV最大約80台を用いて、数時間～数秒のフレキシビリティを創出可能なEMSを開発する。

〔背景・経緯〕
2030年までに日本の変動性再エネの導入率を19～21%とする政府目標達成には数秒～数時間のフレキシビリティが必要となる。

〔狙い、波及効果〕
蓄電池としてEVを活用し、P Vの導入を促進することで2030年には約5億kWhの再エネを導入することを目指す。

〔事業化〕
卒 F I T 家庭の中でレジャー用 E Vを保有するセグメントに絞りニッチ市場から市場参入し、その後新築住宅に P Vとセットで販売するモデルでマス市場に出ていく。

2. 株式会社Yanekara松藤圭亮

本社所在地	千葉県柏市柏の葉五丁目4番19号 東大柏ベンチャープラザ
設立／資本金	2020年/1億円
従業員数	20名（令和5年12月現在）
事業内容	電気自動車の充放電システムの開発、販売

3. その他機関

